

Istanbul Weekly vol. 11-no. 3



イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2022年2月10日（木）



— 今週のポイント —

政治：エルドアン大統領、新型コロナウイルスに感染。

エルドアン大統領、ウクライナを公式訪問。

社会：電気料金の高騰に対する抗議活動が発生。

注：経済関連のニュースにつきましては、トルコ日本人商工会連絡協議会（JBGT）が JETRO イスタンブール事務所から発出されている「JBGT コロナウイルス感染症関連情報」をご参照ください。

政治

【内政】

●政府機関人事関連

・法相、辞任

1月29日、ギュル法相は、同職を辞任すると発表。エルドアン大統領は、ベキル・ボズダー前法相を後任に任命。（1月29日付け [SZ](#)）

・CHP、新法相によるギュレン氏賞賛演説を疑問視

1月29日、バシュルル CHP 議員は、ギュル法相の後任として任命されたボズダー新法相が、トルコ政府がテロ組織と主張する FETÖ の指導者、ギュレン氏を賞賛する演説を行ったと主張。（1月29日付け [C](#)）

・TUIK 局長、解任

1月29日、トルコ政府は、デインチェル TUIK 局長を解任すると発表。エルドアン大統領は、チェティンカヤ同局副局長を後任に任命。（1月29日付け [SZ](#)）

・新法相、判決遵守の必要性を強調

2月1日、ボズダー新法相は、国内の犯罪に関し、SNS の意見を反映し、裁判所の審理を経た判決を覆すことはあってはならないと述べ、裁判所の判決を遵守する必要があると強調。（2月1日付け [C](#)）

・新法相、家庭内暴力の取締強化を表明

2月2日、ボズダー新法相は、トルコ法務省にとって家庭内暴力及び女性に対する暴力の取り締まり強化が最重要課題であると発言。（2月2日付け [HDN](#)）

●大統領選挙関連

・TKP 書記長、野党統一候補支持を表明

1月31日、オクヤン・トルコ共産党（TKP）書記長は、2023年に予定されている大統領選挙に関し、第1回目の投票で過半数を獲得する候補者がおらず、仮にエルドアン大統領とクルチダルオール CHP 党首が決選投票で争った際は、クルチダルオ

ール CHP 党首を支援すると発言。（1月31日付け [C](#)）

・故国党党员ら CHP に移籍

2月1日、故国党党员 66 人は、同党を離党し、CHP に移籍すると発表。CHP 幹部は、同党员の入党式に出席し、歓迎の意を表明。（2月1日付け [C](#)）

・CHP 党首、早期選挙の実施を予想

2月4日、クルチダルオール CHP 党首は、エルドアン大統領は冬期後の選挙実施は望んでいないと述べ、今年秋頃に早期選挙が実施されると予想。（2月4日付け [HDN](#)）

・MHP 党首、2023 年の総選挙の実施を再度表明

2月6日、バフチェリ MHP 党首は、次期総選挙の実施は予定通り 2023 年 6 月であると発言し、早期選挙の可能性を指摘する野党党首らを牽制。（2月6日付け [HDN](#)）

・野党 6 党、議会制回帰に向けた協議を予定

2月6日、オズトラック CHP 報道官は、クルチダルオール CHP 党首が野党 6 党の党首による議会制への回帰に向けた協議を主催すると発表。（2月6日付け [HDN](#)）

・HDP 除籍議員、MHP に入党

2月8日、メフメト・カルティ元 HDP 議員は、職務内容を理由に同党を除籍処分となった後、MHP に入党。HDP から MHP に入党した議員はカルティ氏が初めてであり、同氏は HDP がクルド系住民を代表していないと非難。（2月8日付け [C](#)）

・優良党党首、CHP 指名の候補者に反対しない意向を表明

2月10日、アクシェネル優良党党首は、次期大統領選挙の野党統一候補に関し、クルチダルオール CHP 党首の立候補に反対しない意向を表明。（2月10日付け [C](#)）

●与党によるイスタンブール市長非難関連

・MHP 党首、イスタンブール市長を非難

2月1日、バフチェリ MHP 党首は、イスタンブール市の降雪被

害に対する対策が不十分であったとして、イマムオール・イスタンブール市長に辞任を要求。(2月1日付け [HDN](#))

●エルドアン大統領らの新型コロナウイルス感染関連

・エルドアン大統領、新型コロナウイルスに感染

2月5日、エルドアン大統領は、エミネ大統領夫人とともに新型コロナウイルス感染症に感染したことを発表。同大統領は、軽症で自宅での勤務を継続すると発表。(2月5日付け [HDN](#))

・各国首脳ら、早期回復を望む声明を発表

2月6日、ヒュリエット・デイリー・ニュース紙は、エルドアン大統領の新型コロナウイルス感染に関し、カーン・パキスタン首相、ゼレンスキー・ウクライナ大統領を含む各国首脳から早期回復を願う声明が発表されたと報道。また、クルチダルオール CHP 党首、アクシェネル優良党党首を含む野党関係者も声明を発表。(2月6日付け [HDN](#))

・イスラエル大統領、早期回復を望む声明を発表

2月6日、ヘルツォグ・イスラエル大統領は、エルドアン大統領が新型コロナウイルス感染症に感染したことを受け、同大統領の早期回復を願う声明を発表。(2月6日付け [HDN](#))

・国防相、新型コロナウイルスに感染

2月6日、アカル国防相は、新型コロナウイルス感染症に感染下と発表。同相は、健康であり、予防措置を講じながら職務を継続すると発表。(2月6日付け [AA](#))

●降雪被害関連

・ウスパルタ県で降雪被害が発生

2月5日、ウスパルタ県関係者は、同県の一部地域で降雪による停電が断続的に発生したと発表。(2月5日付け [C](#))

・70歳の市民、凍死

2月6日、ウルパルタ県知事は、同県に居住する70歳の市民が死亡したことを受け、同氏が降雪による停電によって電気ストーブを使用することができず凍死したと一部の報道を否定。(2月6日付け [C](#))

・CHP 党首、ウスパルタ県知事を非難

2月6日、クルチダルオール CHP 党首は、ウスパルタ県で発生した降雪に関し、電力会社及び道路整備を民営化したことが被害を拡大したと述べ、トルコ政府を非難。(2月6日付け [C](#))

・優良党関係者、ウスパルタ県知事らを非難

2月6日、優良党関係者は、ウスパルタ県の降雪被害地域を視察し、同地域の被害は重大であり、AKP 所属の同県知事及び電力会社を非難。(2月6日付け [C](#))

●エルドアン大統領の3期目に関する議論関連

・MHP 党首、大統領3期目に法的問題はないと発言

2月7日、バフチェリ MHP 党首は、トルコ憲法は「大統領」の3選を禁止しているが、2018年の大統領制導入後、1期目を務めるエルドアン大統領の次期選挙への出馬は、現行の大統領制の下での2期目を指すものであり、立候補には法的問題はないと発言。(2月7日付け [HDN](#))

・CHP 党首、3期目の立候補に条件付きで賛成

2月8日、クルチダルオール CHP 党首は、エルドアン大統領

が3期目に向けた立候補が可能であるかの議論に関し、早期選挙を実施する場合は、立候補が可能であると発言。(2月8日付け [C](#))

・CHP 党首、議論はエルドアン大統領の利益となると分析

2月9日、クルチダルオール CHP 党首は、エルドアン大統領が次期選挙への出馬が可能であるかの議論に関し、同議論を継続することは野党がエルドアン大統領の再選をあらゆる手段で阻止しようとしているとの印象を有権者に与え、最終的にエルドアン大統領の利益になると発言。(2月9日付け [HDN](#))

●THY、幹部人事を刷新

1月29日、THY は、アイジュ会長を含む3人の執行役員が辞任したことを受け、アフメト・ボラト氏を新会長に任命。(1月29日付け [HDN](#))

●CHP 党首、エルドアン大統領を非難

1月30日、クルチダルオール CHP 党首は、エルドアン大統領が出席した行事で演台に上がった少年が、同党首を「裏切り者」と呼んだことに関し、子どもを政争の具として利用すべきではないと大統領を非難。(1月30日付け [C](#))

●イスタンブール市、インフラ投資事業に関し政府を非難

1月31日、イスタンブール市は、トルコ政府の2022年の大統領府公共投資プログラムに同市の地下鉄路線整備が含まれないことを受け、市内の公共交通機関に政府を非難するポスターを掲示。(1月31日付け [C](#))

●エルドアン大統領、教師任命式に出席

1月31日、エルドアン大統領は、教師任命式に出席し、トルコ政府は教育分野を重視していると発言。(1月31日付け [トルコ大統領府](#))

●国防庁長官、トルコ製ドローンを評価

1月31日、デミル国防産業庁長官は、トルコ製ドローンは世界の様々な紛争地において重要視されていると述べ、引き続き高い需要が見込めると発言。(1月31日付け [HDN](#))

●ボアジチ大学学長、解任された学部長後任に自身を任命

2月1日、インジ・ボアジチ大学学長は、学部長が解任された3学部のうち、芸術学部長に自身を任命。同大学関係者は、同決定に反発。(2月1日付け [C](#))

●難民支援団体、ボル市長を刑事告訴

2月2日、トルコ難民支援団体の関係者は、オズジャン・ボル市長を難民に対する憎悪及び差別を助長したとして刑事告訴。(2月2日付け [C](#))

●CHP 党首、電気料金の高騰を非難

2月9日、クルチダルオール CHP 党首は、電気料金の高騰に関し、エルドアン大統領に対し値上げを撤回するよう要求。同党首は、値上げを撤回するまで電気料金を支払わない意向を表明。(2月9日付け [C](#))

【外交】

●トルコ・北米、中南米関係

・駐トルコ米大使、イスタンブール市長を表敬訪問

1月31日、フレーク駐トルコ米国大使は、ダーネル在イスタンブール米国総領事とともに、イマムオール・イスタンブール市

長を表敬訪問。同市長は、トルコと米国の関係の更なる発展に期待すると発言。(1月31日付け [C](#))

・外相、米国国務長官と電話会談を実施

2月8日、チャヴシュオール外相は、プリンケン米国国務長官と電話会談を実施し、ロシア・ウクライナ関係に関し協議。(2月8日付け [C](#))

●トルコ・欧州関係

・タジキスタンとの国交樹立 30 周年

1月29日、トルコ外務省は、タジキスタンとの国交樹立 30 周年に際し、これまでの友好的な二国間関係に触れつつ、貿易、投資、文化、防衛を含む様々な分野における協力関係を発展させる意向を表明。(1月29日付け [トルコ外務省](#))

・ギリシャとの住民交換 99 周年

1月29日、デイリー・サバフ紙は、第一次世界大戦後のギリシャとの住民交換協定の締結 99 周年を記念し、ギリシャからトルコに移住した住民の祖先に当時の家族の様子やトルコ社会に関するインタビューを掲載。(1月29日付け [DS](#))

・ブルガリア政府の入国条件緩和でトルコへの入国増加か

2月1日、ヒュリエット・デイリー・ニュース紙は、ブルガリア政府がワクチン接種証明書を提示した場合、ブルガリア入国時の PCR 検査の受検を不要としたことを受け、エディルネ県への来訪者が急増する見込みであると報道。(2月1日付け [HND](#))

・国防相、ロシア・ウクライナ関係に言及

2月1日、アカル国防相は、エルドアン大統領のウクライナ訪問を前に、ロシア政府とウクライナ政府に対し、事態の悪化を避けるための対話を継続するよう要請。(2月1日付け [HND](#))

・トルコ・アルメニア間チャーター機、初就航

2月2日、ヒュリエット・デイリー・ニュース紙は、アルメニア政府との国交正常化の一環としてイスタンブール・エレバン間のチャーター便が就航を開始したと報道。(2月2日付け [HND](#))

・ギリシャ国境で移民 12 人の遺体発見

2月2日、ソイル内相は、トルコ治安当局がギリシャ国境で移民 12 人の遺体を発見したと発表。同相は、死亡した移民はギリシャ国境警備隊がトルコに送還した者であると述べギリシャ政府を非難。(2月2日付け [HND](#))

・トルコ外務省、欧州評議会の決定に反発

2月2日、トルコ外務省は、ゲズイ公園事件への関与などで拘束されている実業家オスマン・カヴァラ氏に関し、トルコ政府による拘束の正当性の説明にも関わらず、欧州評議会閣僚委員会が本件を欧州人権裁判所に付託すると決定したことを非難。(2月2日付け [トルコ外務省](#))

・エルドアン大統領、欧州評議会を非難

2月3日、エルドアン大統領は、ウクライナの公式訪問前に記者会見を開催し、オスマン・カヴァラ氏に関する欧州評議会閣僚委員会の決定に関し、トルコの司法制度を尊重しない者の決定は認めないと発言。(2月3日付け [C](#))

・ウクライナとの国交樹立 30 周年

2月3日、トルコ外務省は、ウクライナとの国交樹立 30 周年に

際し、近年の両国関係が相互理解に基づいて発展し、地域の平和と安定に貢献していると評価。また、トルコ政府は、クリミア半島の併合を認めず、ウクライナの領土の一体性を支持すると表明。(2月3日付け [トルコ外務省](#))

・エルドアン大統領、ウクライナを公式訪問

2月3日、エルドアン大統領は、ウクライナを公式訪問し、ゼレンスキー大統領と会談を実施。エルドアン大統領は、ウクライナの主権及び領土の一体性を引き続き支援すると発言。(2月3日付け [トルコ大統領府](#))

・第 2 回アルメニアとの国交正常化交渉、2 月 24 日に開催

2月3日、トルコ外務省は、アルメニア政府との国交正常化に向けた第 2 回交渉を 2 月 24 日にオーストリア・ウィーンで開催すると発表。(2月3日付け [トルコ外務省](#))

・外相、ギリシャ政府による移民への対応

2月8日、チャヴシュオール外相は、ギリシャ当局による移民の非人道的な扱いを EU が黙認していると非難。(2月8日付け [HND](#))

・外相、フィンランド外相と会談

2月8日、チャヴシュオール外相は、ハーヴィスト・フィンランド外相と会談を実施し、合同貿易経済委員会第 1 回会合の開催を期待する旨発言。(2月8日付け [トルコ外務省](#))

・ギリシャとのフェリー運航再開

2月10日、フェリー業関係者は、新型コロナウイルス感染症で約 2 年間運行為停止していたトルコ・ギリシャ間のフェリーの運航が再開されたことを受け、観光業の収入が増加する見込みであると発言。(2月10日付け [HND](#))

●トルコ・中東関係

・トルコ政府、カタールに警察官 3,250 人を派遣

1月31日、トルコ政府は、FIFA ワールドカップの開催に際し、3,250 人の警察官をカタールに派遣すると発表。(1月31日付け [C](#))

・外相、バーレーンを公式訪問

1月30日、チャヴシュオール外相は、バーレーンを公式訪問し、ザヤーニ外相と会談を実施。同相は、国防及び保健分野における二国間の協力関係を発展される意向を表明。(1月30日付け [トルコ外務省](#))

・トルコ裁判所、人道支援関係者に対する賠償金を命令

2月1日、トルコの裁判所は、2010年にトルコ船籍のマーヴィ・マルマラ号がガザ地区に人道支援物資を輸送中にイスラエル国防軍の急襲を受けた事件に関し、イスラエル政府に対し生存者の男性 1 名に 15 万トルコ・リラの賠償金を支払うよう判決。(2月1日付け [HND](#))

・エルドアン大統領、レバノン首相と会談

2月1日、エルドアン大統領は、ミカティ・レバノン首相と会談を実施し、貿易を含む複数分野における二国間関係を発展させる意向を表明。また、同大統領は、トルコ政府の国連レバノン暫定隊 (UNIFIL) への貢献を継続する意向を表明。(2月1日付け [トルコ大統領府](#))

・イスラエル大統領、3月中旬にトルコを公式訪問

2月3日、エルドアン大統領は、ヘルツォグ・イスラエル大統領が3月中旬にトルコを公式訪問する予定であると発表。(2月3日付け [HDN](#))

・外相、パレスチナ問題に言及

2月8日、チャヴシュオール外相は、パレスチナ問題に関し、イスラエルとの関係改善によってトルコ政府のパレスチナ支援が停止されることはなく、同問題の二国家解決を支持する意思に変更はないと発言。(2月8日付け [C](#))

・外相、タリバン政権外相と電話会談

2月9日、チャヴシュオール外相は、ムタッキ・タリバン政権外相と電話会談を実施し、女性の教育もアフガニスタンの平和と安定に重要であると述べ、同国内における女性活動家の失踪に関し懸念を表明。(2月9日付け [C](#))

●トルコ・アジア、オセアニア関係

・外相、スリランカを公式訪問

1月28日、チャヴシュオール外相は、スリランカを公式訪問し、ラージャパクサ大統領及びピーリス外相と会談を実施。同相は、貿易及び保健を含む様々な分野における協力関係を発展させる意向を表明。また、両相は、二重課税防止協定に署名。(1月28日付け [トルコ外務省](#))

・外相、モルディブを公式訪問

1月29日から2日間、チャヴシュオール外相は、モルディブを公式訪問し、ソーリフ大統領、シャーヒド外相らと会談を実施。同相は、観光からテロ対策までの幅広い分野における協力関係を発展させる意向を表明。(1月29日付け [トルコ外務省](#))

・トルコ外務省、ミャンマーの軍事クーデターを非難

2月1日、トルコ外務省は、ミャンマーにおける軍事クーデター発生から1周年に際し、同国の情勢に懸念を表明し、ロヒンギャ問題の解決を期待する旨の声明を発表。また、トルコ政府は、いかなる形での軍事クーデター及び軍部の介入に反対する意向を再度表明。(2月1日付け [トルコ外務省](#))

●トルコ・アフリカ関係

・トルコ外務省、ギニアビサウに関する声明発表

2月2日、トルコ外務省は、ギニアビサウ情勢に関し、軍事クーデターの失敗及び国内情勢の安定化を歓迎する声明を発表。(2月2日付け [トルコ外務省](#))

●トルコ・国際機関関係

・NATO 事務総長、エルドアン大統領に感謝の意を表明

2月7日、ストルテンバーク北大西洋条約機構(NATO)事務総長は、エルドアン大統領がロシア・ウクライナ間の緊張関係における政治的解決の実現に貢献しているとして、同大統領に感謝の意を表明。(2月7日付け [DS](#))

・外相、国連シリア担当特使と会談

2月9日、チャヴシュオール外相は、ベダーセン国連シリア担当特使と会談を実施し、シリア憲法委員会に関し協議。(2月9日付け [トルコ外務省](#))

治安

●テロ関係

・ISIL 関係者の逮捕

2月2日、トルコ治安当局は、拘束中のISILトルコ州の責任者、カスム・ギュレル氏がイスタンブール県、イズミル県、メルシン県を含む6県に銃器及び弾薬を保管したと自供したと発表。(2月2日付け [BG](#))

2月9日、トルコ治安当局は、アダナ県で外国籍のISIL関係者6人を逮捕。(2月9日付け [C](#))

・FETÖ 関係者の逮捕

2月7日、トルコ治安当局は、エディルネ県でギリシャへの密入国を試みた元警察官のFETÖ関係者1人を逮捕。(2月7日付け [AA](#))

・トルコ治安当局、新たな対テロ作戦を開始

1月30日、トルコ内務省は、ムシュ県で治安部隊1,071人を動員し、新たな対テロ作戦を開始したと発表。(1月30日付け [AA](#))

・トルコ内務省、対テロ作戦の開始を発表

2月2日、トルコ内務省は、ハッキヤリ県で1,050人を動員し、新たな対テロ作戦を開始すると発表。(2月2日付け [AA](#))

・トルコ外務省報道官、ISIL 指導者殺害に関する声明を発表

2月3日、ビルギチ外務省報道官は、ISILの前指導者の殺害を受け、トルコ政府の同組織を含む全てのテロ組織対策に取り組む姿勢を強調。(2月3日付け [トルコ外務省](#))

・トルコ治安当局、1月にテロリスト47人を「無力化」

2月4日、トルコ内務省は、トルコ治安当局が1月に「無力化」したテロリストが47人であり、5回のテロ攻撃を阻止したと発表。(2月4日付け [AA](#))

●弁護士殺害事件に関し、11人を拘束

1月31日、トルコ治安当局は、イスタンブールで発生したベシクタシュFCの理事会の構成員である弁護士の殺害事件に関し、関係者11人を拘束。(1月31日付け [HDN](#))

●トルコ治安当局、大規模詐欺グループを摘発

2月1日、トルコ治安当局は、サムスン県で法曹関係者及び政治関係者など約370人が関与する大規模詐欺グループの主犯格2人を逮捕。(2月1日付け [HDN](#))

●トルコ治安当局、偽たばこ製造工場を摘発

2月1日、トルコ治安当局は、イズミル県で偽たばこ製造工場を摘発し、関係者18人を拘束し、1,000万本以上のたばこなどを押収。(2月1日付け [DS](#))

●電気料金の高騰に対する抗議活動が発生

2月5日、ジウムフリエツ紙は、イスタンブール・スルタンガズィ区で電気料金の高騰に対する抗議活動が発生したと報道。(2月5日付け [C](#))

●医療関係者、労働環境改善などを求めてデモ活動を実施

2月9日、ジウムフリエツ紙は、イスタンブール・ジェラフパシヤ大学病院の関係者らが医療関係者の劣悪な労働環境、生活費の高騰などに対する抗議活動を実施したと報道。(2月9日)

日付け [C](#))

社会

●自然災害

-専門家、ハタイ県で地震が発生する可能性を示唆

1月31日、ジャンポラット・ムスタファ・ケマル大学講師は、近年、ハタイ県で地震が発生していないことに触れつつ、同県で地震が発生する可能性が高まっていると警告。同講師は、同県で地震が発生した場合、津波が発生し、一部地域が被害を受ける可能性があるとは指摘。(1月31日付け [C](#))

●新型コロナウイルス

-保健相、感染拡大予防を要請

1月31日、コジャ保健相は、国内の感染状況に関し、オミクロン株による感染者数急増の影響は、感染拡大初期と比較すると小規模であると発言。また、同相は、市民に対し、感染予防策を引き続き遵守するよう要請。(1月31日付け [HDN](#))

-保健相、平常化に期待

2月2日、コジャ保健相は、新型コロナウイルス感染症の脅威は徐々に低下しており、短期間で平常化が実現可能であると発言。(2月2日付け [HDN](#))

-保健相、『モルスピラビル』の使用を発表

2月3日、コジャ保健相は、65歳以上及び慢性疾患を抱える

新型コロナウイルス感染者の治療に『モルスピラビル』を使用すると発表。(2月3日付け [HDN](#))

-感染者の増加を受け、トルコ大国民議会を臨時閉会

2月8日、トルコ大国民議会は、議員及び職員の新型コロナウイルス感染が拡大していることを受け、同議会を1週間臨時閉会すると発表。(2月8日付け [HDN](#))

-トルコ製ワクチン、全国で接種可能に

2月10日、コジャ保健相は、トルコ製ワクチンが全国81県で接種可能になったと発表し、1日当たりの新規感染者数が依然として高水準であることに触れつつ、市民に対し積極的に接種するよう要請。(2月10日付け [HDN](#))

●国内のインターネット回線速度、65%上昇

2月6日、カライスマイオール運輸・インフラ相は、国内のインターネット回線速度が世界平均の29.55Mbpsを上回る31.43Mbpsを記録し、前年比で約65%上昇したと発表。(2月6日付け [HDN](#))

●対面式授業、再開

2月7日、ヒュリエット・デイリー・ニュース紙は、国内の教育機関において2週間の休暇が終了し、対面式授業が再開したと報道。(2月7日付け [HDN](#))

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応庁	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SEK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TIKA	トルコ協力調整庁
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公社
ISID/SIL	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSIAD	トルコ独立産業者・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	SZ	Sözcü
BG	Bir Gün	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Haberturk
D	Dünya	IA	Ihlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604

WEB：https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

Facebook：<http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsooloslugu>

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2022.01.29～2022.02.10 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2021年	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

★当館 HP 更新のお知らせ★

【新型コロナ関連情報】

- [新型コロナウイルス感染症に関する新たな水際対策措置\(1月28日付け\)](#)
- [【10日→7日に変更】本邦帰国後の待機期間について\(新型コロナウイルス関連情報\(第120報\):1月28日\)\(1月28日付け\)](#)
- [新型コロナウイルス感染症に関する新たな水際対策措置\(2月2日付け\)](#)

【領事部】

- [領事窓口業務における予約制の導入について](#)
- [イスタンブール総領事館来館時の HES コード提示について\(1月27日\)](#)
- [海外在留邦人・日系人の生活・ビジネス基盤強化事業のご案内](#)
- [\(東京都からのご案内\)金融ライセンス登録手続きに関する英語解説書について](#)
- [イスタンブールにおけるテロへの注意喚起](#)
- [【デモへの注意喚起】トルコ経済問題に対する抗議活動](#)
- [エチオピア・ボレ空港におけるフライト乗り継ぎに関する注意喚起](#)
- [海外滞在者の運転免許証の更新に係る今後の対応について](#)
- [孤独・孤立及びそれに付随する問題でお悩みの方へ](#)
- [イズミルにおける領事出張サービスについて\(3月4日\(金\):予定\)](#)
- [【注意喚起】イスタンブールにおける降雪の影響](#)
- [【2月13日締切】領事サービス向上・改善のためのアンケートへの協力をお願い](#)
- [海外在留邦人向けオンライン医療相談及び精神カウンセリング・サービス提供事業のご案内](#)
- [海外在留邦人向けオンライン医療相談及び精神カウンセリング・サービス提供事業における待ち時間の発生](#)
- [Visit Japan Web サービス\(本邦検疫・入国審査・税関申告等のウェブサービスを提供:本邦デジタル庁\)](#)